

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	アクセスⅡ				科目コード	T1600B2		
配当期	前期・ <u>後期</u> ・通年	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中				単位数	2単位		
担当教員名	武田 春美	履修グループ	<u>2I(BI)</u>				授業方法	演習		
実務経験の内容	資材メーカーのシステムエンジニアとして、5年間にわたり在庫管理システムの開発・運用業務や、ITコンサルタント企業で顧客の販売管理システムの開発・運用業務を6年間行った経験を生かし、データベースについて実践的に授業展開を行う。									
学習一般目標	前期に引き続き、データベースソフトウェア Access の操作習得をめざす。 授業では、データベースの応用知識と、実用的なシステム構築についての理解の習得を目的とする。									
授業の概要および学習上の助言	毎回教科書に従い、データベースの作成を、説明を受けながら実習する。 次に、応用としてプリント課題を出題するので、教科書を参考にしながら、各自で課題を作成していく。 模擬試験を実施しながら、MOS合格レベルの知識を習得してほしい。									
教科書および参考書	教科書：よくわかるマスター MOS Access2016 対策テキスト&問題集									
履修に必要な予備知識や技能	前期の学習内容 (Access2016 基礎の知識)									
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Access2016									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標								
	1.	データベースや Access の応用内容・知識を理解する。								
	1・4	Access のオブジェクトを作成・活用できる。								
	4	各オブジェクトを活用したりレーショナルデータベースを作成できる。								
	4	実習と課題作成に意欲をもって取り組みことができる。								
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合						80		20	100
	学部 D P	1.知識・理解					20		20	40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現					60			60
5.関心・意欲										
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ小テスト									
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品	テキストの演習とプリント課題の提出。(毎回)								
	ポートフォリオ									
	その他	授業への出席、取組みなどを含め総合的に判断する。								

## 授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の 運営方法	学習課題 (予習・復習)
第1週	Access I の復習 前期の学習内容 (Access 基礎) の復習をします。	講義・実習	
第2週	データベースの作成と管理① テーブルの関連性が理解できる。	講義・実習	
第3週	データベースの作成と管理② データベースの保護・管理、エクスポートができる。	講義・実習	
第4週	データベースの作成① テーブルの作成、フィールドの設定ができる。	講義・実習	
第5週	データベースの作成② テーブルの管理、レコードの管理ができる。	講義・実習	
第6週	クエリの作成① クエリが作成できる。	講義・実習	
第7週	クエリの作成② クエリ内で集計やグループ化ができる。	講義・実習	
第8週	フォームの作成① フォームが作成できる。	講義・実習	
第9週	フォームの作成② フォームの書式設定やコントロールが設定できる。	講義・実習	
第10週	レポートの作成 レポートの作成、書式設定ができる。	講義・実習	
第11週	模擬試験①	講義・実習	
第12週	模擬試験②	講義・実習	
第13週	模擬試験③	講義・実習	
第14週	総合演習① テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	講義・実習	
第15週	総合演習② テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	講義・実習	